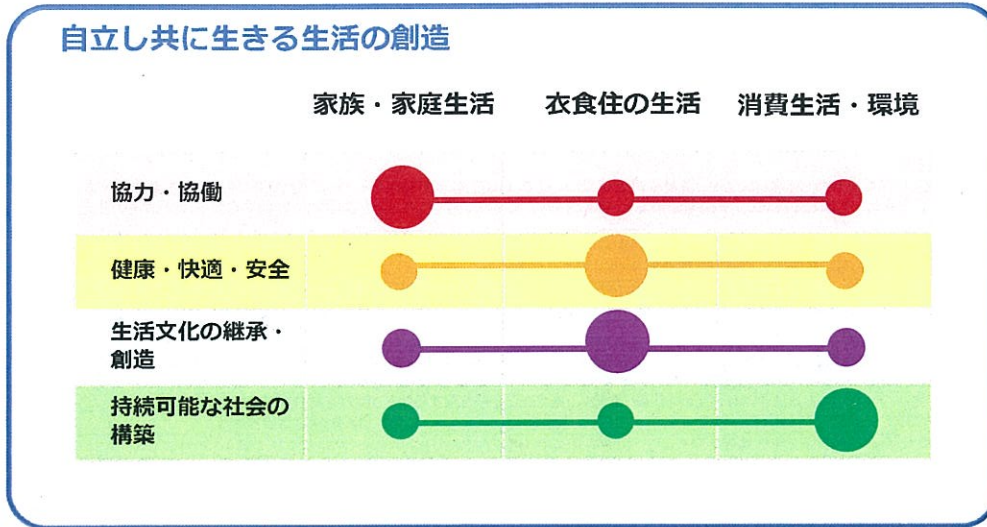


小学校家庭、中学校技術・家庭 家庭分野の内容一覧

小学校	中学校
<p><b>A 家族・家庭生活</b></p> <p>(1) 自分の成長と家族・家庭生活                      ア 自分の成長の自覚、家庭生活と家族の大切さ、家族との協力                      (2) 家庭生活と仕事                      ア 家庭の仕事と生活時間                      イ 家庭の仕事の計画と工夫                      (3) 家族や地域の人々との関わり                      ア (7) 家族との触れ合いや団らん                      (イ) 地域の人々との関わり                      イ 家族や地域の人々との関わり                      (4) 家族・家庭生活についての課題と実践                      ア 日常生活についての課題と計画・実践・評価</p>	<p><b>A 家族・家庭生活</b></p> <p>(1) 自分の成長と家族・家庭生活                      ア 自分の成長と家庭生活との関わり、家族・家庭の基本的な機能、家族や地域の人々との協力・協働                      (2) 幼児の生活と家族                      ア (7) 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割                      (イ) 幼児の遊びの意義、幼児との関わり方                      イ 幼児との関わり方の工夫                      (3) 家族・家庭や地域との関わり                      ア (7) 家族の協力和家族関係                      (イ) 家庭生活と地域との関わり、高齢者との関わり方                      イ 家族関係をよりよくする方法及び地域の人々と協働する方法の工夫                      (4) 家族・家庭生活についての課題と実践                      ア 家族、幼児の生活又は地域の生活についての課題と計画・実践・評価</p>
<p><b>B 衣食住の生活</b></p> <p>(1) 食事の役割                      ア 食事の役割と食事の大切さ、日常の食事の仕方                      イ 楽しく食べるための食事の仕方の工夫                      (2) 調理の基礎                      ア (7) 材料の分量や手順、調理計画                      (イ) 調理器具や食器の安全で衛生的な取扱い、加熱用調理器具の安全な取扱い                      (ウ) 材料に応じた洗いや、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳、後片付け                      (エ) 材料に適したゆで方、いため方                      (オ) 伝統的な日常食の米飯及びみそ汁の調理の仕方                      イ おいしく食べるための調理計画及び調理の工夫                      (3) 栄養を考えた食事                      ア (7) 体に必要な栄養素の種類と働き                      (イ) 食品の栄養的特徴と組合せ                      (ウ) 献立を構成する要素、献立作成                      イ 1食分の献立の工夫                      (4) 衣服の着用と手入れ                      ア (7) 衣服の主な働き、日常着の快適な着方                      (イ) 日常着の手入れ、ボタン付け及び洗濯の仕方                      イ 日常着の快適な着方や手入れの工夫                      (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作                      ア (7) 製作に必要な材料や手順、製作計画                      (イ) 手縫いやミシン縫いによる縫いや、用具の安全な取扱い                      イ 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫                      (6) 快適な住まい方                      ア (7) 住まいの主な働き、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方                      (イ) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方                      イ 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方の工夫</p>	<p><b>B 衣食住の生活</b></p> <p>(1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴                      ア (7) 食事が果たす役割                      (イ) 中学生の栄養の特徴、健康によい食習慣                      イ 健康によい食習慣の工夫                      (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事                      ア (7) 栄養素の種類と働き、食品の栄養的特質                      (イ) 中学生の1日に必要な食品の種類と概量、献立作成                      イ 中学生の1日分の献立の工夫                      (3) 日常食の調理と地域の食文化                      ア (7) 用途に応じた食品の選択                      (イ) 食品や調理用具等の安全・衛生に留意した管理                      (ウ) 材料に適した加熱調理の仕方、基礎的な日常食の調理                      (エ) 地域の食文化、地域の食材を用いた和食の調理                      イ 日常の1食分の調理及び食品の選択や調理の仕方、調理計画の工夫                      (4) 衣服の選択と手入れ                      ア (7) 衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用や個性を生かす着用、衣服の選択                      (イ) 衣服の計画的な活用、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ                      イ 日常着の選択や手入れの工夫                      (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作                      ア 製作する物に適した材料や縫いや、用具の安全な取扱い                      イ 生活を豊かにするための資源や環境に配慮した布を用いた物の製作計画及び製作の工夫                      (6) 住居の機能と安全な住まい方                      ア (7) 家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能                      (イ) 家族の安全を考えた住空間の整え方                      イ 家族の安全を考えた住空間の整え方の工夫                      (7) 衣食住の生活についての課題と実践                      ア 食生活、衣生活、住生活についての課題と計画・実践・評価</p>
<p><b>C 消費生活・環境</b></p> <p>(1) 物や金銭の使い方と買物                      ア (7) 買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さ、計画的な使い方                      (イ) 身近な物の選び方、買い方、情報の収集・整理                      イ 身近な物の選び方、買い方の工夫                      (2) 環境に配慮した生活                      ア 身近な環境との関わり、物の使い方                      イ 環境に配慮した物の使い方の工夫</p>	<p><b>C 消費生活・環境</b></p> <p>(1) 金銭の管理と購入                      ア (7) 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理                      (イ) 売買契約の仕組み、消費者被害、選択に必要な情報の収集・整理                      イ 情報を活用した物資・サービスの購入の工夫                      (2) 消費者の権利と責任                      ア 消費者の基本的な権利と責任、消費行動が環境や社会に及ぼす影響                      イ 自立した消費者としての消費行動の工夫                      (3) 消費生活・環境についての課題と実践                      ア 環境に配慮した消費生活についての課題と計画・実践・評価</p>

\* 枠囲みは選択事項。3学年間で1項目以上を選択

○家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること。



※主として捉える視点については、大きい丸で示している。  
取り上げる内容や題材構成等により、どの視点を重視するのかは異なる。

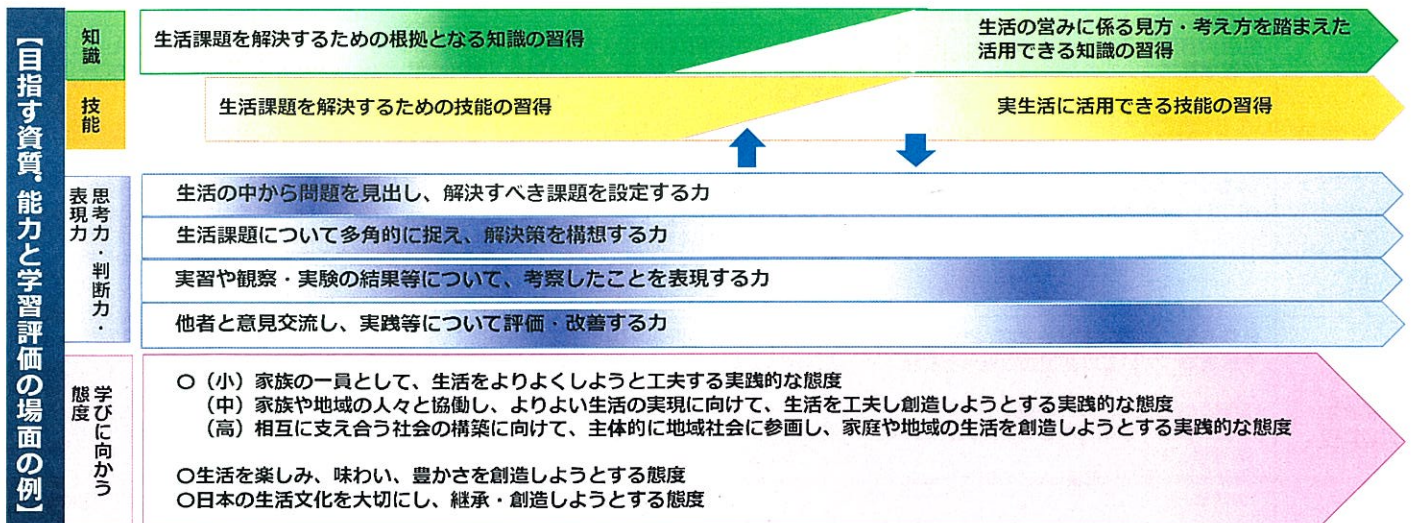
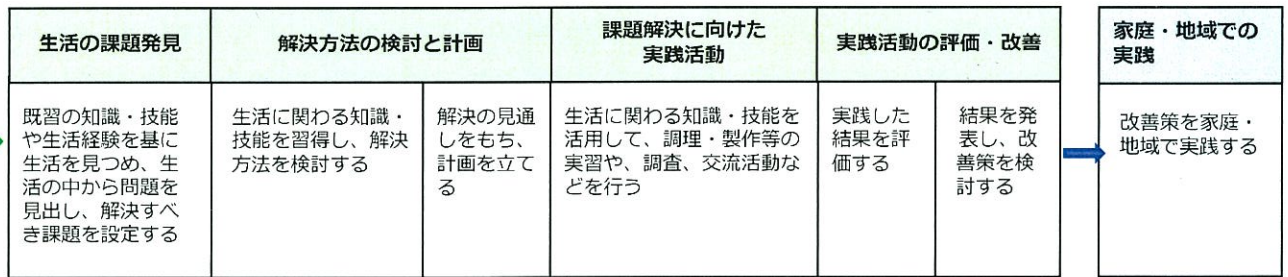
家庭科、技術・家庭科（家庭分野）において育成を目指す資質・能力の整理

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
家庭 高等学校 (共通教科)	<p><b>自立した生活者に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての科学的な理解と技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族・家庭についての理解</li> <li>・乳幼児の子育て支援等や高齢者の生活支援等についての理解と技能</li> <li>・生涯の生活設計についての理解</li> <li>・各ライフステージに対応した衣食住についての理解と技能</li> <li>・生活における経済の計画、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立についての理解と技能</li> </ul>	<p><b>家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定する力</li> <li>・生活課題について他の生活事象と関連付け、生涯を見通して多角的に捉え、解決策を構想する力</li> <li>・実習や観察・実験、調査、交流活動の結果等について、考察したことを科学的な根拠や理由を明確にして論理的に表現する力</li> <li>・他者の立場を考え、多様な意見や価値観を取り入れ、計画・実践等について評価・改善する力</li> </ul>	<p><b>相互に支え合う社会の構築に向けて、主体的に地域社会に参画し、家庭や地域の生活を創造しようとする実践的な態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造しようとする態度</li> <li>・様々な年代の人とコミュニケーションを図り、主体的に地域社会に参画しようとする態度</li> <li>・生活を楽しみ味わい、豊かさを創造しようとする態度</li> <li>・日本の生活文化を継承・創造しようとする態度</li> <li>・自己のライフスタイルの実現に向けて、将来の家庭生活や職業生活を見通して学習に取り組もうとする態度</li> </ul>
技術・家庭 中学校	<p><b>生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解と技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の基本的な機能及び家族についての理解</li> <li>・幼児、高齢者についての理解と技能</li> <li>・生活の自立に必要な衣食住についての理解と技能</li> <li>・消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立についての基礎的な理解と技能</li> </ul>	<p><b>家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、これからの生活を展望して課題を解決する力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出し、課題を設定する力</li> <li>・生活課題について他の生活事象と関連付け、これからの生活を展望して多角的に捉え、解決策を構想する力</li> <li>・実習や観察・実験、調査、交流活動の結果等について、考察したことを根拠や理由を明確にして論理的に表現する力</li> <li>・他者の意見を聞き、自分の意見との相違点や共通点を踏まえ、計画・実践等について評価・改善する力</li> </ul>	<p><b>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活を支える一員として生活をよりよくしようとする態度</li> <li>・地域の人々と関わり、協働しようとする態度</li> <li>・生活を楽しみ、豊かさを味わおうとする態度</li> <li>・日本の生活文化を継承しようとする態度</li> <li>・将来の家庭生活や職業との関わりを見通して学習に取り組もうとする態度</li> </ul>
家庭 小学校	<p><b>日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解と技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活と家族についての理解</li> <li>・生活の自立の基礎として必要な衣食住についての理解と技能</li> <li>・消費生活や環境に配慮した生活の仕方についての理解と技能</li> </ul>	<p><b>日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、課題を解決する力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中から問題を見出し、課題を設定する力</li> <li>・生活課題について自分の生活経験と関連付け、様々な解決方法を構想する力</li> <li>・実習や観察・実験、調査、交流活動の結果等について、考察したことを根拠や理由を明確にしてわかりやすく表現する力</li> <li>・他者の思いや考えを聞いたり、自分の考えをわかりやすく伝えたりして計画・実践等について評価・改善する力</li> </ul>	<p><b>家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活を大切にしている心情</li> <li>・家族や地域の人々と関わり、協力しようとする態度</li> <li>・生活を楽しくしようとする態度</li> <li>・日本の生活文化を大切にしようとする態度</li> </ul>



	空間軸	時間軸
<p><b>【高等学校】 共通教科</b></p> <p>◎生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な年代の人と交流し相互に支え合う社会の構築に向けて、生涯を見通し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>①自立した生活者に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p> <p>②家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>③様々な年代の人と交流し相互に支え合う社会の構築に向けて、主体的に地域社会に参画し、家庭や地域の生活を創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>●「ホームプロジェクト」や「学校家庭クラブ活動」等、主体的に取り組む問題解決的な学習を充実する。</p> <p>◇少子高齢化等の社会の変化や持続可能な社会の構築、食育の推進に対応し、子育て支援等の理解、高齢者の理解、生涯の生活設計、消費生活や環境に配慮したライフスタイルを確立するための意思決定、健康な食生活の実践、日本の生活文化の継承・創造等に関する学習を充実する。</p>	社会	生涯を見通した生活
	<p><b>【中学校】</b></p> <p>◎生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、これからの生活を展望し、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>①家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p> <p>②家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>③自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>●家族や地域社会との連携を図り、「生活の課題と実践」等、主体的に取り組む問題解決的な学習を充実する。</p> <p>◇少子高齢化等の社会の変化や持続可能な社会の構築、食育の推進に対応し、家庭の機能の理解や、幼児、高齢者との交流等、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎、食事の役割や栄養・調理、日本の生活文化の継承等に関する学習を充実する。</p>	地域
<p><b>【小学校(高学年)】</b></p> <p>◎生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>①日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p> <p>②日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>③家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。</p> <p>●家族や地域との連携を図り、主体的に取り組む問題解決的な学習を充実する。</p> <p>◇少子高齢化等の社会の変化や持続可能な社会の構築、食育の推進に対応し、家庭生活と家族の大切さ等、消費生活や環境に配慮した生活の仕方、食事の役割や栄養・調理の基礎、日本の生活文化の大切さに気付く学習を充実する。</p>	家庭	現在・これまでの生活
<p><b>【小学校(低・中学年)】</b>(※現行学習指導要領をもとに作成)</p> <p>○基本的な生活習慣や生活技能、身近な人々との接し方(家族や地域の様々な人々)、成長への喜び・成長を支えてくれた人々への感謝等(生活科)</p> <p>○健康によい生活についての理解(健康に過ごすための明るさの調節や換気などの生活環境)、体の発育・発達についての理解(体をよりよく発育・発達させるための調和のとれた食事)(体育科)</p> <p>○日常の生活や学習への適応及び健康・安全(基本的な生活習慣の形成、食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成等)(特別活動)</p> <p>○節度・節制(基本的な生活習慣、節度ある生活)、家族愛、家庭生活の充実等(道徳)等</p>		
<p><b>【幼児教育】</b>(※幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のうち、特に関係のあるものを記述)</p> <p>○幼稚園生活の中で充実感や満足感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しを持って自ら健康で安全な生活を作り出していけるようになる。</p> <p>○家族を大切にしようとする気持ちを持ちつつ、いろいろな人と関わりながら、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に一所の親しみを持つようになる。</p> <p>○身近な環境に主体的に関わりいろいろな活動や遊びを生み出す中で、自分の力で行うために思い巡らしなどして、自分でしなければならないことを自覚して行い、諦めずにやり遂げることで満足感や達成感を味わいながら、自信を持って行動するようになる。</p>		

## 家庭科、技術・家庭科（家庭分野）の学習過程のイメージ



※上記に示す各学習過程は例示であり、上例に限定されるものではないこと